

移住促進がもたらす御浜町への経済効果

1人の移住・定住 = 御浜町に **毎年約125万円/人** の経済効果

試算の根拠（1人あたり年間消費）

食費・日用品	約 36万円
住居費（家賃等）	約 36万円
交通・車両費	約 24万円
医療・保険	約 12万円
外食・娯楽・その他	約 17万円
合計	約 125万円

※ 総務省「家計調査」単身世帯平均をもとに試算

2025年度 移住の成果を経済効果(円)に換算

17 名の移住決定
 $\times 125\text{万円} =$ **毎年2,125万円**

5年定住 経済効果

1億円

10年定住 経済効果

2.1億円

20年定住 経済効果

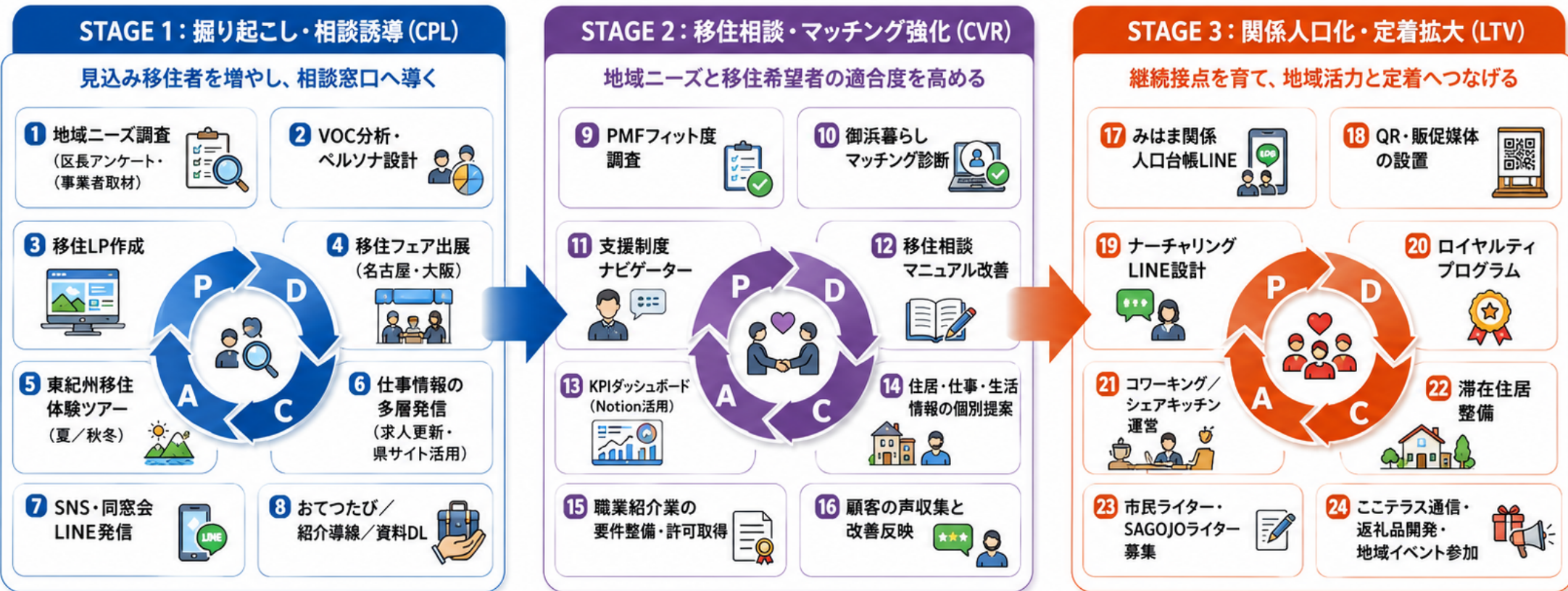
4.2億円

※ 17名の移住者が御浜町内で消費し続けた場合の累計試算(LTV)

御浜町 移住・交流促進業務の全体設計

令和8年度スケジュールを「集客→マッチング→定着」の流れで図解

若者・子育て世帯を中心に、見込み層の獲得から関係人口化・定着までを一体設計



5~6月 基盤設計
調査、分析、設計



7~9月 集客強化
LP、フェア、ツアー、発信



10~12月 関係深化
LINE設計、交流拠点、関係人口化



1~3月 成果化
通信、返礼品、リスト獲得、次年度改善

令和8年度 御浜町移住・交流促進業務 スケジュール

目的	目標	重点 이슈 (仕様書より)	戦略	戦術													
				5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
移住・交流促進	移住マッチング率向上(CVR)	移住希望者(スキルやライフスタイル)と地域のニーズとの適合性を重視したマッチング	PMF型マッチング(移住希望者ニーズと地域ニーズを可視化し、適合度の高い移住希望者をマッチング)	地域ニーズ調査(区長アンケート、事業者取材等)	VOC分析・ペルソナ設計(移住者アンケート等の活用)	PMFフィット度調査(地域ニーズ×移住希望者ニーズ×サポートデスク機能の交差点可視化)	「御浜暮らしマッチング診断」アプリ作成(診断レポートで、移住後の望む未来を可視化し、地域とのマッチングを促進)	補助金・支援制度ナビゲーターアプリ作成(移住者の意思決定支援ツール化)	アップセル・クロスセル設計(移住者ジャーニー上の提案タイミング設計)	移住相談マニュアル改善(移住者ジャーニー・オンボーディング設計)							
	住居、仕事(就職・就農・創業)、生活、地域、支援制度といった移住に必要な情報を相談内容に応じて情報提供	KPIダッシュボード作成(notion活用)	県の就業マッチングサイト活用(地元企業求人取りまとめ)、町内事業者の仕事情報の取材(月1件以上)、求人サイトの求人情報更新(月70件以上)、町内事業者の情報発信(SNSで月4回以上)、同窓会連絡会LINE等を活用した情報発信(月2件以上)	県の就業マッチングサイト活用(地元企業求人取りまとめ)、町内事業者の仕事情報の取材(月1件以上)、求人サイトの求人情報更新(月70件以上)、町内事業者の情報発信(SNSで月4回以上)、同窓会連絡会LINE等を活用した情報発信(月2件以上)													
	移住希望者掘り起こし・誘導(CPL)	ポータルサイト等のほか、様々な手段を用いて、プロモーション活動を展開	仕事起点型の多層発信・マッチング(仕事情報を複数経路で可視化し、移住希望者をマッチング)	職業紹介業の要件整備・許可取得													
	様々な方策を講じて、民間団体・個人、市町、県等と連携しつつ、若者や子育て世帯を中心に町への移住希望者を掘り起こし、働きかけ、移住相談窓口へ誘導	マルチチャネル(複数接点)型リード獲得・相談誘導	顧客の声アンケート設計、顧客の声依頼・発信	みはま関係人口・移住LP作成(競合低×適合高のTOPキーワード調査・作成)	東紀州移住体験ツアーメニュー作成【夏】告知・実施	三重県移住フェア@名古屋	三重県移住フェア@大阪	東紀州移住体験ツアーメニュー作成【秋冬】告知・実施	ふるさと帰郷センターに「御浜暮らしマッチング診断アプリ」チラシ設置	「20歳のつどい」でのイベント実施・リスト獲得	リードマグネット作成(無料DL資料でLINE獲得)	リファラルプログラム設計(紹介促進)					
地域住民や事業者との交流機会を創出することで、中長期的な視点での定着と地域活力の維持・向上	地域と関係人口の接点化・階層化による地域ロイヤルティの深化	おてつたび登録(関係人口チャネル作成)	みはま関係人口台帳LINE作成(農業・作業支援・地域交流・担い手、情報発信等で接点創出)							みはま関係人口台帳LINEのQR・販促媒体作成・設置							
交流(関係人口)創出・拡大(LTV)	事務所が備える様々な交流機能等を活かし、地域内外との交流を通じた集客交流産業をはじめとした産業振興に資する環境整備	交流拠点を活用した関係人口創出・地域産業ハブ化	ふるさと納税返礼品開発【移住体験住宅利用券+御浜おかしりブレンド(珈琲)】「みはま関係人口台帳QR」「移住チラシ」同梱	シェアキッチン運営(食×交流・地域事業者支援)	関係人口者の滞在住居整備	市民ライター・sagojoライター募集	ピザパン倶楽部等、町民に対するイベント実施支援	「みはま関係人口台帳LINE」登録者に町の情報発信(季節の便りやイベント情報等を2ヶ月に1回以上)、交流拠点を広告媒体として活用した、訪問客・宿泊客向けの町内事業者情報の発信および集客・採用支援									
事務所に対する地域の理解を深めるための取組	地域行事への継続参加を通じた地域信頼形成・受入基盤強化	・尾呂志学園運営協議会 ・ツールド熊野運営スタッフ	・尾呂志の草刈り参加 ・尾呂志学園夕涼み会	尾呂志学園運営協議会	尾呂志学園運営協議会	・尾呂志地区の月見 ・尾呂志学園運動会	尾呂志学園文化祭	尾呂志学園運動会	ここテラス通信(移住者インタビュー→移住事例紙)の制作・配布	尾呂志カップ	尾呂志学園運営協議会						